

# やましなGOGOカフェ

## 平成27年度 第4回開催報告書

### ●開催概要

開催日	平成27年11月3日(日)	
開催時間	午前10時～12時30分	
会場	山科区役所大会議室	
出席者数	25名	
プログラム	午前10時～	<b>趣旨と進め方の説明</b> 事務局から、やましなGOGOカフェの目的や、今日の進め方、配布資料等について説明しました。
	午前10時5分～	<b>自己紹介からはじめましょう</b> 文化の日にちなんで「心に残っているおすすめの本、映画、まんが」で自己紹介をしました。 
	午前10時30分～	<b>ホームルームの時間① ～気になる木になる山科～</b> 各テーブルで、「山科のここが好き」、「山科のここが気になる・ほっとけない」、「山科のこの魅力を活かしたい」など、参加者が今、山科のことで気になっていることを話し合いました。
	午前11時～	<b>話したいテーマを出そう</b> 他の参加者と話し合いたいテーマを考え、発表し合いました。(計6テーマ) 
	午前11時10分～	<b>GOGOカフェ談義 ～テーマに集ってカフェ談義～×2ラウンド</b> 発表を聞き、関心を持ったテーマに集い、そのテーマについて話し合いました。 
	午後0時15分～	<b>ホームルームの時間② ～今日のふりかえり～</b> 「本日の収穫帳」に記入し、自分の今日の成果を振り返ったあと、他の参加者と今日の成果を振り返りました。
	午後0時25分～	<b>おわりに</b> 参加者にマイクを渡しイベント紹介の時間を設けました。

## ●GOGOカフェ談義のテーマと主な内容

### ① みささぎの森と疏水 自然と景観を守るには… 里山活動を通じて感じるいろいろなこと

- ✓ 疏水・自然は宝。守っていくにはどうしたらいいか？不法投棄、枯倒木の処理について。
- ✓ みささぎの森を山科の環境保全のモデル地区にしては。
- ✓ いろいろな人が来て、活用できる里山にしたい。関心を持ってもらうにはどうしたらいいか。
- ✓ 里山の必要性。獣害対策にも里山は必要である。

### ② 山科区制40周年 40キロウィーキング&スタンプラリー・ハロウィン

- 山科は道が狭く、一度に大勢で歩くのは難しい。
- 40キロではなく、40箇所を巡るウォーキングでもいいのでは。
- 歴史や、山科のお店を知ってもらいたいという視点を取り入れたい。

### ③ 弦楽の聖地山科をアピリ、山科区民が心から楽しめる♪音楽フェスやります 協力者募集中

- ✓ イベントに盛り込むコンテンツについて。ただライブを見る・聞くだけではなく、学び・育みの要素があってもいい（弦楽器体験のワークショップ、プロミュージシャンによるアドバイス、楽器製作工程の見学ツアーなど）。また、コーラスなど楽器ができない人向けのプログラムがあってもよい。
- ✓ 会場は、山科駅前などオープンな場所で。

### ④ やましなのまちづくり

- ✓ ふるさとの会が大きく広がったのはどこに秘密があるのか。参加者のニーズにそう、縁をきずなにつなげる努力ことなどがその秘密。
- ✓ 区民同士のネットワークで解決できる問題も多いのではないかな。
- ✓ 区内に既にある居場所の活用について。

### ⑤ 中高生が地域で食べていく仕組みづくり

- ✓ 既存の地域の中で、中高生の関わりの余地が少ないすぎる。若くても働きに対してそれなりの報酬を得られる仕組みが必要では。
- ✓ 「やりがい」のために動くところまではいけない子どもたちを巻き込むために、呼び水としてのおまけ（皮からの餃子づくりや、とうふづくり）を用意してはどうか。
- ✓ やませいに来られない中高生へのサポートも必要。

### ⑥ 山科は山科でがんばろう

- ✓ 京都市に来る観光客は京都盆地が中心。山科盆地を巡ってもらおう観光コースをガイドブックにしてはどうか（毘沙門堂→随心院→醍醐寺）。
- ✓ 山科独自のイベントや魅力（義士祭りや山科疏水）をコラボさせてアピールしてはどうか。
- ✓ 山科にだって魅力はいっぱいある！「そうだ、山科へ行こう」。山科に来てもらうには何が必要か。
- ✓ 山科のことを考える仲間を作ろう！